

模擬授業を通して学ぶ STEM (科学・技術・工学・数学) 教育 における修学効果の高い 学生主体の指導方法

2020年1月17日 (金)
13:30~16:00
東北大学 青葉山キャンパス
情報科学研究科
2階 大会議室

講師

キンバリー・タナー

サンフランシスコ州立大学 生物学科 教授、同大学 科学教育連携・評価ラボ所長

Professor Kimberly Tanner, Department of Biology,

and Director, SEPAL (The Science Education Partnership and Assessment Laboratory), San Francisco State University

このワークショップは
英語で提供されます

近年、日本の科学研究の失速ぶりが様々なデータから明らかになっている。だが、明日の科学研究を育てるのは今日の科学教育であることを忘れてはならない。諸外国では、知識基盤経済におけるイノベーションが重視される今日、STEM (Science, Technology, Engineering, and Mathematics) と呼ばれる科学・技術・工学・数学諸分野の教育の振興のため、ミクロ (授業レベル) からマクロ (政策レベル) まで戦略的な取組が展開されている。本ワークショップでは、模擬授業を通して STEM 科目で活用可能なアクティブラーニングの教育手法のヒントを学ぶ。



プログラム

13:30 ~ 13:40 開会挨拶および趣旨説明

中村 教博

東北大学 高度教養教育・学生支援機構 教授、
学際融合教育推進センター長

13:40 ~ 14:00 模擬授業

キンバリー・タナー

14:00 ~ 15:30 ワークショップ

Maximizing Learning by Moving Towards
Active Learning in 1-, 5-, 10, or 20-minutes

15:30 ~ 15:50 質疑応答

15:50 ~ 16:00 閉会挨拶

渡邊 由美子

東北大学 高度教養教育・学生支援機構 教授、
国際学位プログラムコーディネーター

designed by freepik.com

参加申込み方法 HPの「イベント申込み」から申込みいただけます。

<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/>

東北大学高度教養教育・学生支援機構

検索

※Web申込み不可の場合は、氏名・所属・連絡先 (e-mail) を明記の上、ihe-seminar@g-mail.tohoku-university.jp までお申込みください。

東北大学高度教養教育・学生支援機構
大学教育支援センター
TEL.022-795-4471 Fax.022-795-4749
Email. ihe-seminar@g-mail.tohoku-university.jp

主催

東北大学高度教養教育・学生支援機構